

論文審査の結果の要旨

| | | | |
|---|--|----|------|
| 報告番号 | 乙 第 3390 号 | 氏名 | 柳井 亮 |
| 論文審査担当者 | 主査 本田 浩一 教授 副査 伊與田 雅之 教授 副査 猪又 直子 教授 | | |
| <p>論文題名 : Number of attending physicians and accumulated organ damage in patients with Systemic lupus erythematosus: LUNA registry cross-sectional study (SLE 患者における主治医人数と障害の蓄積 : LUNA レジストリ、横断研究)</p> <p>掲載雑誌名 : Rheumatology and Therapy. doi:10.1007/s40744-022-00528-8 2022 年</p> <p>全身性エリテマトーデス (SLE) は長期にわたる疾患であり主治医変更が多くなることがある。今回柳井らは SLE 発症後の主治医の人数が臓器障害と関連するかどうかを検討した。14 施設コホートに登録された SLE 患者を対象とし、要因を発症後からの主治医人数、主要転帰は SLE Damage Index (SDI) とした。多重ロジスティック回帰を用い、交絡因子を調整し、横断的に解析した。主治医の数は SDI と有意に関連していた (オッズ比 [OR] 1.14 (95%信頼区間 [CI] 1.03-1.26))。本研究により主治医の数が増えるにつれて SDI が増加する可能性が示された。主治医変更は、疾患においてもより注目されるべきテーマであると考え。本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p> | | | |

(主査が記載)